

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公開番号】特開 2002-324530 (P2002-324530A)
 【公開日】平成 14 年 11 月 8 日 (2002.11.8)
 【出願番号】特願 2002-111851 (P2002-111851)
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 1 M 2/10

【F I】

H 0 1 M 2/10 G

H 0 1 M 2/10 P

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 6 月 1 日 (2004.6.1)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

隣接する電池の反対極性の端子が互いに接触するように構成された電池室において、前記端子表面積の最小の接触可能部分を規定する一つの前記端子の領域が、二つの前記接触端子の間の唯一の接触点であるように電池を設置することを特徴とする電池室。

【請求項 2】

反対の端に正および負の端子面を有するケーシングを備えた少なくとも二つの電池には、前記正および負の各端子面に実質上直交する長手軸が横断しており、設置したとき、少なくとも二つの前記長手軸が互いに交差するように前記電池を直列に接触させたことを特徴とする少なくとも二つの電池のための電池室。

【請求項 3】

電力消費構成要素と、
少なくとも 2 個の標準乾電池を直列に配置にして電氣的に接続するための電池室であって、前記各乾電池は、平面状の負の端子と、平面状頭部およびその周辺に縁を有する突出した正端子ボタンとを備えたケーシングを有し、第 2 の直列電池位置にある電池の前記正端子ボタンの前記縁だけが第 1 の直列電池位置にある電池の負端子の平面状表面に接触するようになっている前記電池室を備えていることを特徴とする電池駆動装置。